

# 令和4年度 第2回景観審議会・自然環境保全審議会 議事録

日 時 令和4年9月21日(水)  
午後6時00分～7時00分  
場 所 役場1階第1会議室

## 1 開 会

- ・審議委員の出席者は8名であり、過半数を満たしているため、本会議は成立となる。
- ・出席者 審議会委員：京屋委員、片山委員、阿部委員、飯田委員、三浦委員、西出委員、山本委員、崎山委員  
事 務 局：新村課長、安藤係長、柳田主事  
届 出 者：3名

## 2 あいさつ 新村課長

## 3 議 案

### (1) 景観条例に基づく開発行為等協議案件について

#### ①携帯電話基地局の設置について

#### 【事務局から説明】

- ・今回基地局建設に至った経緯としては、これまで届出者では、自社回線が繋がらないエリアにおいては、他社の回線につなぐ「パートナー回線」を行っていたが、今年度中にパートナー回線がすべて終了することに伴い、パートナー回線にてカバーしていたエリアにおいて、届出者で新たに基地局を整備していく必要があった。
- ・コンクリート柱の高さは、ウバクベツ・原野については14.8m、五稜については19.8mとなっている。
- ・他社との共架を検討いただいたが、技術的な面等から難しく、新たに建設するものである。
- ・3件とも早ければ10月に着工し、12月に完了する予定である。
- ・今回、届出者にも参加いただいております、協議案件に関する質疑等については、届出者よりご回答いただく。

【委員からの質疑・意見】 ※■が委員からの質問・意見

■まず、4Gと5Gの違いについてご説明いただいたうえで審議したい。

→【届出者】

- ・今までの携帯は4Gで幅広く使われている。
- ・5Gは高速通信に特化したものだが、4Gと比較しカバー範囲が少ない
- ・4Gは2km程度、5Gは1km強カバーできる。
- ・4Gがなくなっていく可能性はあるが、本数が多いためすぐに切り替えが完了することはない。

■既存の4Gに付け替えることは可能か？

→【届出者】

- ・4Gの既設電柱のアンテナを5G仕様のものに付け替えられる。

■飛ぶ距離が4Gの半分程度ということは、基地局は今の倍に増えていくのか？

→【届出者】

- ・増える可能性は否定できないが、4社でのタワーシェアリングや他社との共架も検討していくため、倍にはならない。
- ・今すぐにはならないが、将来的には小型化されるのではないかと考えている。

■技術の進歩、軽量化により既存基地局はどうなるのか将来的なビジョンを教えてください。

→【届出者】

- ・不要になれば撤去する場合もある。15~20mだと5年契約なので、不要になれば契約を更新せず、抜柱して整地し、土地を返却するという形をとる。
- ・衛星回線を使って使用できるようにするビジョンもある。

■他社とのパートナー回線、共架ができないのは？

→【届出者】

- ・仮にすべての基地局が共架柱となった場合、災害時にすべてのキャリアの回線が断絶してしまう可能性があるため、ある程度単独の基地局も必要となる。
- ・他社で回線が長時間止まった事例もあったが、それぞれの会社の電波を貸し借りできるようなことも検討していかなければならないと考えている。
- ・共架は機器類の安全面、強度検討をする必要があり、また、他社や地権者の意向が優先されるため、共架できないケースが生じる。
- ・4社で共有できるタワーシェアリングの活用も検討しており、某市の某施設では自治体からの要請を受け、タワーシェアリングのみの建設となっている。
- ・各社で新設を考えるときに自治体要請に応えることができる可能性もある。

■協議案件の基地局の近くに他社のものはあるのか？

→【届出者】

- ・離れたところに設置されている。

■ 4社に共架の打診はしているのか。新設する場合は他社と協議してほしい。

→【届出者】

- ・共架してほしい意向は伝えている。
- ・新規で建てる上で協議をしていきたいと考えている。

■ 今回の案件の箇所は、居住者が少ない場所に思うが基地局は必要なのか。

→【届出者】

- ・総務省からは全エリアをカバーするよう通達されている。
- ・基地局の選定は住民一人いれば計画に入れる。
- ・農業など外で作業されている方も対象となる。
- ・災害対策の側面もある。
- ・移動時に通信が確保できないこともある。山間部においても通信を確保したい。

■ スマート農業にも関わってくるのか。

→【届出者】

- ・デジタル技術の活用は広がりを見せているため、スマート農業のみならず、様々な分野で関わってくることになる。

■ スマート農業だと基地局が増え、丘の景観を阻害するのでは。

→【届出者】

- ・原則農地には考えていないが、設置をする際は農業委員会に許可を取ることになる。
- ・将来的には人工衛星を使い、建柱できない所にも電波を届けられるよう考えている。

■ 幹線道路から動画を取り始めて、基地局が分かりやすいところから撮り始めてみたかどうか。360°見渡した場合の見え方も。

→【事務局】

- ・次回審議会から動画の撮影方法を改善したい。

■ 事業者には共架をお願いしてほしい。

→【事務局】

- ・基地局建設の際には、共架を前提として検討を進めてもらっている。

■ 写真の建設イメージ図の柱の高さが、周辺の樹木に対し低く見える。実際にはもう少し高いのでは。

→【事務局】

- ・パース図は正確に作成してもらおうよう事業者働きかけを行う。

## (2) その他

### 【前回の審議会で質疑を受けた事項について事務局からの説明】

- 美しい村連合に加盟している他の自治体の基地局建設の状況について  
→他自治体では、基地局の相談件数自体少なく、また、美瑛町ほど審議をしていない状況にある。今後も状況は変わると思うので逐一聞き取りを行っていきたい。
- 町内全体の基地局の設置状況は。  
→これまでの行為の届出から拾い上げると全部で74基あるが、すでに撤去されたものがある可能性もあるため、実際の数とはズレが生じていると考えている。

### 【委員からの意見等】

- 北西の丘や新栄の丘、三愛の丘などの公園の景観を妨げている樹木がたくさんある。景観重要建造物である赤い屋根の家も鉄道の防風林と思われる樹木で見えづらい状況になっている。20年前にも同様の状態になり、伐採したことがある。  
→【事務局】
  - ・公園の管理を行っている部署に内容を共有し協議したい。また、鉄道防風林と思われる樹木については所有者を確認し、対応方法を検討したい。
- 昨年クリスマスツリーの木周辺の電柱が3本移設されたが、中途半端な状態で移設され、景観を妨げている。国道沿いの1本を移設検討してほしい。  
また、今後電柱の移設などの話があった場合、景観審議会にも共有してほしい。

### →【事務局】

- ・当該箇所については今後検討したい。
- ・事業者から移設等の相談があった場合、特に景観への影響が大きい箇所について委員に情報を共有したい。

### 【協議結果】

- ・本案件については、景観に与える影響が小さいため、特段問題なし。

## 4 閉 会